

【学習の目標と学習方法】

・社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

授業について		家庭学習について		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
・授業は教科書を中心に行います。板書を写したり、資料を読み取ったりしながら基礎的な知識や技能を身につけた上で、ワークシートに取り組み、「なぜ」「どうして」など自分の考えをもち、表現することが大切です。		・学んだ知識や技能、考える力はくり返し確認することで身につきます。授業があった日には、教科書を読む・ノートを見直す・問題に取り組むなど、復習に力をいれましょう。 ・ドリルパーク・プリントに取り組みましょう。		評価観点	・国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解している。 ・歴史の大きな流れを、各時代の特色を踏まえて理解している。 ・個人の尊厳と人権の尊重の意義を広い視野から正しく認識している。	・地理に関わる事象について、多面的・多角的に考察したりしている。 ・歴史に関わる事象を考察したり、思考・判断したことを説明、議論したりしている。 ・社会的事象を考察したり、思考・判断したことを説明、議論したりしている。	・日本や世界の地域に関わる諸事象を、主体的に追究、解決しようとしている。 ・歴史に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ・現代の社会的事象について、主体的に社会に関わろうとしている。
生徒のみなさんに ・授業中に疑問に思ったことや分かったこと、先生の話や友だちの考えなどは、ノートにメモをしましょう。 ・地図帳はいつも手元に置き、地名を学んだら必ず地図で確認しましょう。 ・国内外の社会の状況に関心をもち、新聞を読んだりニュースを見たりしましょう。家の人ともニュースについて話ができると良いです。		試験前はこのような取り組みよう ・まず教科書を音読しましょう。そして、授業で学んだ語句を書くことができ、その意味を説明することができるように、何度もノートに語句と意味を書き写しましょう。 ・歴史は、主なできごとを年表にまとめ、起きた順番を把握しましょう。 ・地理は、白地図に授業で学んだ特色などを書き込んでいきましょう。 ・公民は教科書をもとにもう一度ノートにまとめ、ニュースに関心をもち、様々なメディアから目を通しておきましょう。			・定期考査 ・（小テスト） ・提出物 ・授業への意欲（発言など）	・定期考査 ・（小テスト） ・提出物（ノート、ファイル、宿題、ワークシートなど）	・提出物（ノート、ファイル、宿題、ワークシートなど） ・ドリルパークの取り組み ・授業への意欲（発言など）
評価資料							

1 年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計105h
	＜歴史＞ 歴史の移り変わり 原始・古代 ＜地理＞ 世界の姿 世界各地の人々の生活と環境				夏 休 み	＜歴史＞ 原始・古代 中世の日本と世界 ＜地理＞ 世界各地の人々の生活と環境				冬 休 み	＜歴史＞ 近世の日本と世界 ＜地理＞ 世界の諸地域		
	31					47					27		
2 年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計105h
	＜歴史＞ 近世の日本 ＜地理＞ 身近な地域の調査 日本の地域的特色				夏 休 み	＜地理＞ 日本の地域的特色 日本の諸地域 ＜歴史＞ 開国と近代日本の歩み				冬 休 み	＜地理＞ 日本の諸地域 ＜歴史＞ 二度の世界大戦と日本		
	31					47					27		
3 年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計144h
	＜地理＞ 身近な地域の調査 日本の地域的特色 ＜歴史＞ 二度の世界大戦と日本 ＜公民＞ 現代社会と私たち 日本国憲法と私たち				夏 休 み	＜歴史＞ 現代の日本と私たち ＜公民＞ 政治と私たち 経済活動と私たち				冬 休 み	＜公民＞ 国際社会と私たち ＜3年間の総復習＞		
	53					67					24		